

・ 資金調達に関する補足説明資料 ・

2025年7月9日

詳細は、2025年7月9日の開示資料
「第三者割当による第25回新株予約権（行使価額修正条項付）及び
第4回無担保社債（私募債）の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」
を参照ください。

- ◆ 本資金調達の目的と背景
- ◆ 本資金調達の概要
- ◆ 本資金調達の資金使途
- ◆ 本資金調達に関するQ&A

本資金調達のための目的と背景

【当社の事業領域】

社会が変化するタイミングで生じる課題の解決



2024年11月14日付開示の「新たな事業（金融投資事業）の開始に関するお知らせ」に記載のとおり、新たに暗号資産投資、株式投資及び融資等に係る投融資を推進する「金融投資事業」を開始いたしました。

【暗号資産の状況】

各国の規制整備が進み、市場の成熟性高まる

【米国の状況】

2024年1月に現物ビットコインのETFが承認されて以来、機関投資家参入や事業会社による保有増加

【日本国内の規制】

金融庁が暗号資産を金融商品として法的に位置づける方針

→市場参加者のさらなる増加見込み

2025年6月4日付でEVO FUNDに対して割り当てられた第24回新株予約権の発行及び行使により、**総額59億円の資金調達**→そのうち約47億円をビットコインの購入に充当

予想されるブロックチェーン技術を活用したサービスの中長期的拡大

米国金融政策の動向や地政学リスク等による外国為替市場の動向注視



これまで
総額167億
円の購入

暗号資産取得を通じた
資産価値の中長期的保全



本資金調達の目的

保有暗号資産の積み上げ

本資金調達の概要

第25回新株予約権の概要

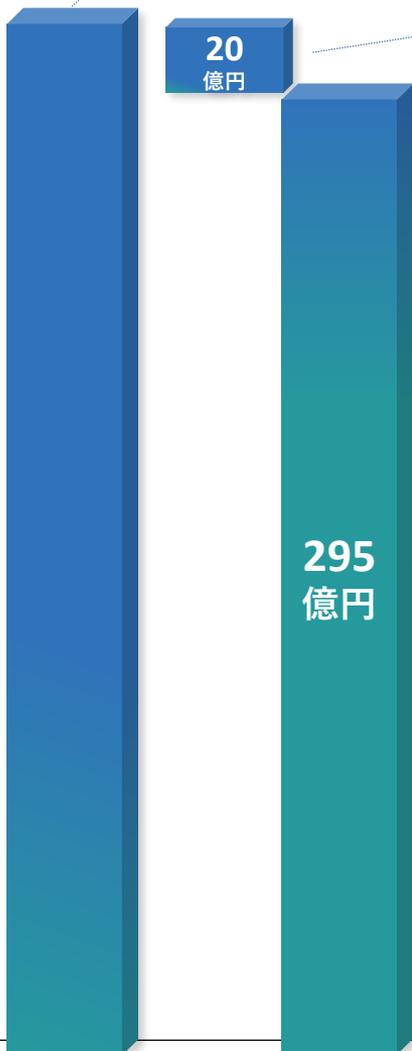
取引内容	行使価額修正条項付新株予約権（第三者割当）
割当先	EVO FUND
潜在株式数合計	55,000,000株（潜在希薄化率：39.9%）
想定調達総額	約315億円
発行決議日	2025年7月9日
発行・払込日	2025年7月25日
当初行使価額	575円
行使価額の修正	3取引日毎に直前3取引日終値の平均値×100%に修正
行使請求期間	2025年7月28日から2026年7月28日

第4回無担保普通社債

取引内容	無担保普通社債（私募債）
割当先	EVO FUND
社債の額面総額	2,000,000,000円
各社債の額面金額	50,000,000円
発行決議日	2025年7月9日
払込期日	2025年7月11日
満期	2026年7月28日 本新株予約権の行使がなされた際は、50百万円単位で、本社債繰上償還に充当する

ディスカウントをゼロとしたワラントと必要資金の早期調達を実現する社債の活用

調達予定総額：約315億円



【第4回普通社債の償還】

7月11日発行予定の第4回普通社債を、本新株予約権が行使された都度、繰上償還いたします。なお、本社債は、ビットコインの購入を目的とし、本資金調達の発行決議と同時に決議を行い、本新株予約権の行使に先立って発行されるものです。

【ビットコインへの投資】

本資金調達で得た資金で購入するビットコインの大部分は中長期保有し、将来のビットコインの資産価値上昇を当社の企業価値の向上につなげてまいります。暗号資産周辺領域において、今後ブロックチェーンを活用したNFT（非代替性トークン）やDeFi（分散型金融）といった、新しいサービスや経済の仕組みの誕生により、暗号資産の存在感はより増すものと予想されています。

暗号資産全体の時価総額は、現在約400兆円まで成長しております。ビットコインはその暗号資産の代表格で、他のアルトコインに比べ時価総額が大きく、高い流動性を保っていることから、当社は、約29,527百万円を、市場状況を踏まえながら暗号資産（ビットコイン）への投資に充当する予定です。

なお、当社は、第24回新株予約権の発行及び行使により、総額59億円の資金調達を行いました。この調達資金のうち約47億円をビットコインの購入に充当し、これまで総額167億円の暗号資産を購入しております。本日現在において当社が保有している暗号資産は以下のとおりです。

	保有枚数	時価評価損益 (百万円)
ビットコイン	1,051.56203275 BTC	2,026
イーサリアム	901.44672542 ETH	81
ソラナ	13,920.07255868 SOL	35
リップル	1,191,204.799501 XRP	8
ドージコイン	2,802,311.99657 DOGE	△2

(注) 時価評価損益は、2026年3月期期首簿価に、2025年7月4日までに取得したビットコイン取得価額6,706,450,000円を加算した価額を基準とし、2025年7月4日の終値（2025年7月4日24：00時点）を基に算出しております。

本資金調達に関するQ&A

質問	回答
調達する資金の用途は何ですか？	第4回普通社債の償還とビットコインへの投資に充たいいたします。
今回の資金調達スキームを選んだ理由は何ですか？	本スキームの手法及びその条件は、既存株主の利益に配慮し、かつ、本スキームの目的及び中期的な経営目標の達成に向けて、 <u>財務の柔軟性を確保しながら安定的かつ強固な資産の保全を確立することに重点を置いている当社のニーズに最も合致しているものと判断いたしました。</u> なお、本スキームは、既存株主の権利の希薄化も招きますが、行使価額修正条項付の新株予約権を用いることにより、行使期間にわたって徐々に希薄化する仕組みであると共に、当社株式の流動性が向上し、当社株主による当社株式の処分容易性も高まることが期待でき、中長期的な観点からは、当社全株主の利益に資するものと考えております。
本スキームの特徴は何ですか？	行使価額修正条項付の新株予約権の場合、一般的には、基準となる株価から、8～10%程度のディスカウントがなされた上で株式の交付が行われます。 <u>これに対し、本新株予約権は、3取引日毎に直前3取引日終値の平均値の100%に修正されます。</u> そのため、基準となる株価からのディスカウントがなく、既存株主の皆様にとっても大きなメリットであると考えております。 また、本新株予約権には <u>下限行使価額</u> が設定されており、修正後の行使価額が下限行使価額を下回る価額に修正されることはなく、株価が下限行使価額を下回る等の株価低迷の局面において、さらなる株価低迷を招き得る当社普通株式の供給が過剰となる事態が回避されるように配慮した設計となっております。 更に、 <u>第4回無担保普通社債の発行を通じて</u> 、新株予約権による資金調達を待たずに、資金用途に必要な資金を速やかに調達できる設計となっております。
割当予定先が行使により取得した株式を継続保有する可能性はありますか？	割当予定先であるEVO FUNDは、純投資を目的としており、本新株予約権の行使により取得する当社普通株式を原則として長期間保有する意思を有しておりません。EVO FUNDは、出資者に対する運用責任を遂行する立場から、保有先の株価推移により適宜判断の上、基本的に市場内で売却しますが、売却時は常にマーケットへの影響を勘案する方針です。
期間内に行使が完了しない可能性はありますか？	本新株予約権の設計上、割当予定先による本新株予約権の行使が期待され、その観点から、一定の確度を持って資金調達が進行することが期待できます。

本資金調達に関するQ&A

質 問	回 答
希薄化の規模はどの程度ですか？	希薄化率は39.90%です（2025年3月31日時点での当社普通株式発行済株式総数125,350,800株及び第24回新株予約権がすべて行使されたことにより交付された株式数12,500,000株を合算した株式数137,850,800株に対する比率）。本新株予約権の目的である当社普通株式数は合計55,000,000株で、株価動向に関わらず、最大交付株式数が限定されております。そのため、希薄化率が当初予定より増加することはありません。
株式はいつ発行されますか？	本新株予約権の行使期間である2025年7月28日～2026年7月28日の間に、段階的に発行される予定です。行使にあたっては、割当予定先の裁量で、株価に対する一時的な影響を抑制しつつタイミングと数量が随時決定されます。

- ① 本資料に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。
その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。